

FLOOR COATINGS

環境対応塗床仕上げ材（薄塗り仕上げ）

床用コーティング シリーズ

新築・塗り替えに適した塗床材

薄膜型 防塵

アーキフロアー AWG

水性アーキフロアー U

水性速硬型ミラクフロアー

アーキフロアー EH マイルド

環境対応塗床仕上げ材

床用コーティング シリーズ

薄塗り仕上げ

FLOOR COATINGS

コンクリート床は使用状況により摩耗、中性化等の劣化が起こります。

それらを保護し、美しく仕上げる材料の一つが塗床材です。

また、塗床材は室内での施工で用いられることも多く、

環境面、安全面も考慮する必要があります。

弊社の環境対応塗床仕上げ材は、用途、要求性能に応じて水性、弱溶剤形の薄塗りのコーティング工法、防滑工法の可能な製品をラインアップしています。

より美しく

このような箇所に適しています。

工場の塗り替え・補修

倉庫の新築・改修

[製品一覧]

製品名	荷姿	樹脂系	区分	光沢
アーキフロアー AWG	15kg 石油缶、4kg 缶	アクリル樹脂	水性	艶有り
水性アーキフロアー U	主剤 15kg 石油缶、4kg 缶 ☆硬化剤 1.5kg 缶、0.4kg 缶	ウレタン樹脂	水性	艶有り
水性速硬型ミラクフロアー	主剤 12kg 石油缶 硬化剤 3kg 缶	エポキシ樹脂	水性	艶有り
アーキフロアー EH マイルド	★主剤 12kg 石油缶、4kg 缶 ★硬化剤 3kg 缶、1kg 缶	エポキシ樹脂	弱溶剤	艶有り

■危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。特に、★印のついてる製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。(☆印は硬化剤のみ★印に該当)

- 1.引火性の液体のため、火気厳禁です。
- 2.有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
- 3.施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

■施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

[環境対応状況一覧]

各法令における規制物質			厚生労働省 文部科学省 国土交通省【建築基準法】													その他			
製品名	一般名称	区分	学校環境衛生の基準										室内濃度指標値※			鉛	TVOC		
			ホルムアルデヒド 放散等級	クロルピリス	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	パラクロロベンゼン	アクリル系 n-ブチル	ホルマリン	2,4,6-トリ エチルメチル	ジアジン	アセアル デヒド	フェノール					
アーキフロアー AWG	水性 アクリル樹脂系 塗床材	水性	F☆☆☆☆	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	5~10
水性アーキフロアー U	水性 ウレタン樹脂系 塗床材	水性	F☆☆☆☆	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	5~10
水性速硬型ミラクフロアー	水性速硬型 エポキシ樹脂系 塗床材	水性	F☆☆☆☆	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	1~5
アーキフロアー EH マイルド	弱溶剤形 エポキシ樹脂系 塗床材	弱溶剤	F☆☆☆☆	配合 せず	配合 せず	1未満	1未満	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	配合 せず	40~50

各省庁の規制物質について表記しています。

ホルムアルデヒドは放散等級区分を表示。

TVOC量は塗料配合中に含有する沸点が 260℃以下の揮発性有機化合物の総量です。

TVOC量や化学物質の配合量は、色目によって異なります。

○配合せず……………塗料中に配合されていない

○数値……………配合量 (%)

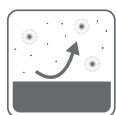
※塗料中にはスチレンを配合しておりません。ただし、製品によっては使用している樹脂にスチレンが共重合化され、ポリマー化している場合があります。ポリマー化したスチレンは樹脂内に固定化されているため、一般条件下においてスチレンモノマーが揮発することは殆どありません。その他詳しくは、SDSをご参照ください。

[標準色一覧 (全 20 色)]



※見本は印刷のため実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。発注の際は、必ず見本帳で色目をご確認ください。

[特長のマークについて]



防塵性

床からの塵や埃の発生を抑制します。



耐磨耗性

床表面に傷がつきにくい製品です。



耐薬品性

化学薬品に対して耐性を発揮します。



低臭性

臭いを抑えた環境対応の製品です。



耐候性

紫外線に強く屋外での使用が可能です。



高耐久性

強度が高く割れにくい製品です。



速乾性

最終養生において乾きやすい製品です。

水性反応硬化形アクリル樹脂系塗床材

アーキフロアー-AWG

水性

1液

F☆☆☆☆

屋内/屋外

水性でありながら、高い光沢性、優れた耐久性を示します。

特長



防塵性

耐摩耗性

低臭性

試験成績表

JIS K 5970による試験結果

項目	結果	品質
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗装作業性	合格	塗装作業に支障がない。
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常である。
耐摩耗性	8.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量30mg以下。
耐衝撃性	合格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐水性	合格	6時間水に浸したとき異常がない。
耐アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合格	6時間アルカリに浸したとき異常がない。



荷姿

水性アーキフロアープライマー

15kg石油缶 (標準塗坪: 75~100㎡/缶)

アーキフロアー-AWG

15kg石油缶、4kg缶 (標準塗坪: 平滑工法50㎡/15kg缶、NS工法33㎡/15kg缶)

けい砂6号

25kg袋

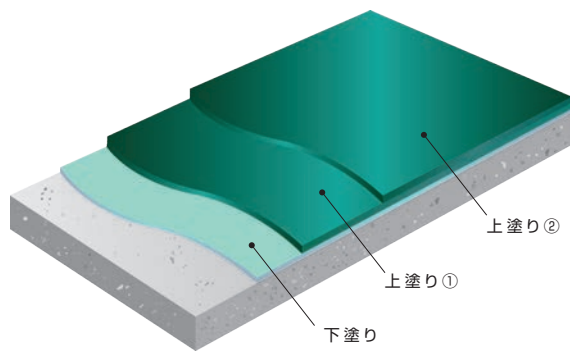
標準施工仕様

平滑工法 (コーティング仕上げ)

(23℃)

工程	材料名	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレタンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・ 含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・ pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下塗り	水性アーキフロアープライマー	既調合	0.15 ~ 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷毛
上塗り	アーキフロアー-AWG	100	0.30	2	3 以上	—	24 以上	ローラー 刷毛
	清 水	0~10	—					

平滑工法 (コーティング仕上げ)

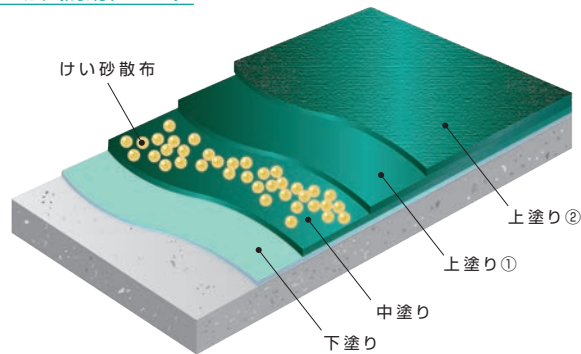


NS工法 (防滑仕上げ)

(23℃)

工程	材料名	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレタンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・ 含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・ pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下塗り	水性アーキフロアープライマー	既調合	0.15 ~ 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷毛
中塗り	アーキフロアー-AWG	100	0.15	1	—	10分 以内	—	ローラー 刷毛
	清 水	0~10	—					
けい砂散布	けい砂 6号	—	0.25	1	—	8以上	—	手散布 又は吹付
上塗り	アーキフロアー-AWG	100	0.30	2	3 以上	—	24 以上	ローラー 刷毛
	清 水	0~10	—					

NS工法 (防滑仕上げ)



- ※1. 吸い込みが多い下地の場合は、必要に応じて2回塗りしてください。また水性アーキフロアープライマー塗装後、テープング試験で付着性の確認を行うことを推奨します。
- ※2. アスファルト面に施工する際は、水性アーキフロアープライマーを使用せず、アーキフロアー-AWGを直接塗装してください。その際には、必ず試し塗りを行ってください。なお、下地の吸い込みが著しい場合は、水性速硬化型ミラックロアープライマーを塗装後、アーキフロアー-AWGの塗装を行ってください。アスファルト面ではアーキフロアー-AWGの塗付け量(2回塗り時)は「1.0~1.4kg/㎡」、清水での希釈率は刷毛・ローラー塗り時で「10~15%」となります。
- ※3. アスファルト面では、アスファルトのしじみにより変色する場合があります。特に白色、淡彩色の色相を塗装される際には、試験塗りを実施し、仕上りを確認した上で本塗装を行ってください。鋪装して間もないアスファルト面には、油分が表面に染み出てこないようになるまで(鋪装後3週間程度が目安です)塗装は避けてください。
- ※4. 旧塗膜の改修には水性アーキフロアープライマーを使用せず、アーキフロアー-AWGを直接塗装、あるいは、水性速硬化型ミラックロアープライマーを使用してください。

艶消しの水性アクリル樹脂系塗床材「アーキフロアー-AW」もあります。遊歩道などの簡易塗装にお勧めです。

水性ウレタン樹脂系塗床材

水性アーキフロアー-U

水性

2液

F☆☆☆☆

屋内/屋外

黄変・退色しにくく、
屋外にも使用可能です。

特長



試験成績表

JIS K 5970による試験結果

項目	結果	品質
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗装作業性	合格	塗装作業に支障がない。
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常である。
耐摩耗性	4.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量30mg以下。
耐衝撃性	合格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐水性	合格	6時間水に浸したとき異常がない。
耐アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合格	6時間アルカリに浸したとき異常がない。



荷姿

水性アーキフロアープライマー

15kg石油缶 (標準塗坪: 75~100㎡/缶)

☆水性アーキフロアー-U

主剤: 15kg石油缶、4kg缶 ☆硬化剤: 1.5kg缶、0.4kg缶

(標準塗坪: 平滑工法55㎡/16.5kgセット、NS工法34㎡/16.5kgセット)

けい砂6号

25kg袋

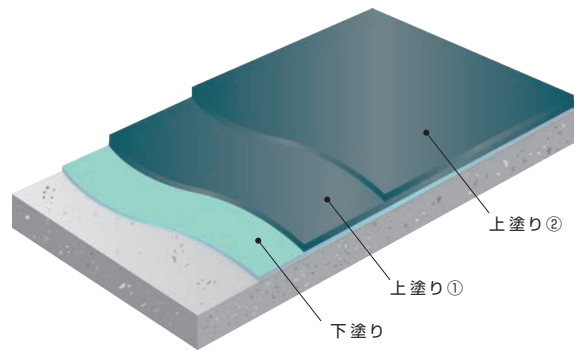
標準施工仕様

平滑工法 (コーティング仕上げ)

(23℃)

工程	材料名	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリシャ-型研磨機を使用) ・ 含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・ pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下塗り	水性アーキフロアープライマー	既調合	0.15 ~ 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷毛
	水性アーキフロアー-U 主剤	100	0.30	2	4~48	—	24 以上	ローラー 刷毛
水性アーキフロアー-U 硬化剤	10							
上塗り	清 水	0~10	—	—	—	—	—	—

平滑工法 (コーティング仕上げ)

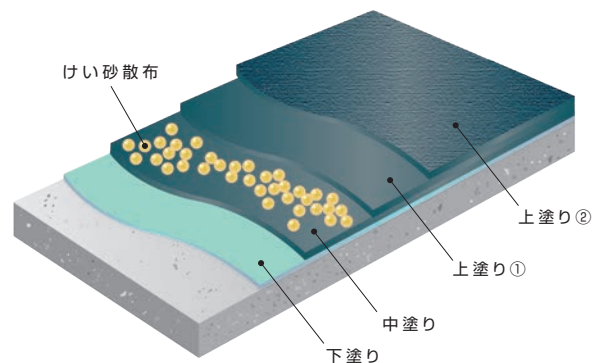


NS工法 (防滑仕上げ)

(23℃)

工程	材料名	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリシャ-型研磨機を使用) ・ 含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・ pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下塗り	水性アーキフロアープライマー	既調合	0.15 ~ 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷毛
	水性アーキフロアー-U 主剤	100	0.18	1	—	10分 以内	—	ローラー 刷毛
水性アーキフロアー-U 硬化剤	10							
中塗り	清 水	0~10	—	—	—	—	—	—
けい砂散布	けい砂 6号	—	0.25	1	—	8以上	—	手散布 又は吹付
	水性アーキフロアー-U 主剤	100	0.30	2	4~48	—	24 以上	ローラー 刷毛
水性アーキフロアー-U 硬化剤	10							
上塗り	清 水	0~10	—	—	—	—	—	—

NS工法 (防滑仕上げ)



- ※1. 吸い込みが多い下地の場合は、必要に応じて2回塗りしてください。また水性アーキフロアープライマー塗装後、テープング試験で付着性の確認を行うことを推奨します。
- ※2. アスファルト面に施工する際には、水性アーキフロアープライマーを使用せず、水性アーキフロアー-Uを直接塗装してください。その際には、必ず試し塗りを行ってください。なお、下の吸い込みが著しい場合には、水性速硬化型ミラクフロアープライマーを塗装後、水性アーキフロアー-Uの塗装を行ってください。アスファルト面では、水性アーキフロアー-Uの塗付け量(2回塗り時)は「1.0~1.4kg/㎡」、清水での希釈率は刷毛、ローラー塗り時で「10~15%」となります。
- ※3. アスファルト面では、アスファルトのしみによって変色する場合があります。特に淡彩色系の色目を塗装される際には、試験塗りを実施してください。特に舗装して間もないアスファルト面には、油分が表面に染み出てこなくなるまで塗装は避けてください。(目安: 舗装後3週間以上(標準状態))
- ※4. 旧塗膜の改修には水性アーキフロアープライマーを使用せず、水性アーキフロアー-Uを直接塗装、あるいは、水性速硬化型ミラクフロアープライマーを使用してください。

水性速硬型エポキシ樹脂系塗床材

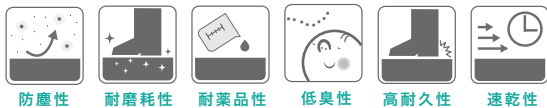
水性速硬型ミラクフロアー

水性 2液 F☆☆☆☆

屋内

水性でありながら、溶剤形塗料に匹敵する性能を発揮します。

特長



試験成績表

JIS K 5970による試験結果

項目	結果	品質
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗装作業性	合格	塗装作業に支障がない。
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常である。
耐摩耗性	4.5mg	規定回転数当たりの摩耗減量30mg以下。
耐衝撃性	合格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐水性	合格	6時間水に浸したとき異常がない。
耐アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合格	6時間アルカリに浸したとき異常がない。



荷姿

水性速硬型ミラクフロアープライマー
主剤：8kg石油缶 ☆硬化剤：4kg缶（標準塗坪：60～80㎡/セット）

水性速硬型ミラクフロアー
主剤：12kg石油缶 硬化剤：3kg缶
（標準塗坪：平滑工法50㎡/セット、NS工法33㎡/セット）

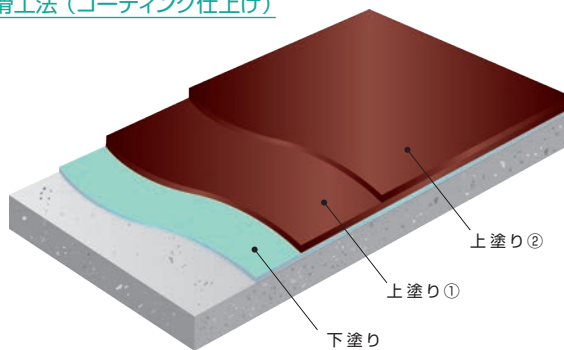
けい砂6号
25kg袋

標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

工程	材料名	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレイトンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリシヤーマ型研磨機を使用) ・ 含水率測定(高周波静電容量式水分計・ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・ pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下塗り	水性速硬型ミラクフロアープライマー 主剤	100	0.15	1~2	4以上	4以上	—	ローラー 刷毛
	水性速硬型ミラクフロアープライマー 硬化剤	50	0.25					
上塗り	水性速硬型ミラクフロアー 主剤	100	0.30	2	4~24	—	24以上	ローラー 刷毛
	水性速硬型ミラクフロアー 硬化剤	25						
	清 水	0~10						

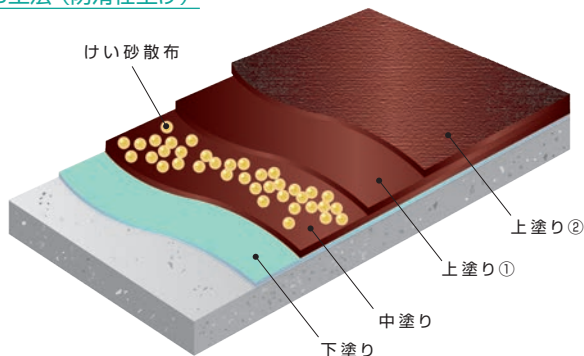
平滑工法（コーティング仕上げ）



NS工法（防滑仕上げ）

工程	材料名	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレイトンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリシヤーマ型研磨機を使用) ・ 含水率測定(高周波静電容量式水分計・ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・ pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下塗り	水性速硬型ミラクフロアープライマー 主剤	100	0.15	1~2	4以上	4以上	—	ローラー 刷毛
	水性速硬型ミラクフロアープライマー 硬化剤	50						
中塗り	水性速硬型ミラクフロアー 主剤	100	0.15	1	—	10分以内	—	ローラー 刷毛
	水性速硬型ミラクフロアー 硬化剤	25						
	清 水	0~10						
けい砂散布	けい砂 6号	—	0.25	1	—	8以上	—	手散布 又は吹付
上塗り	水性速硬型ミラクフロアー 主剤	100	0.30	2	4~24	—	24以上	ローラー 刷毛
	水性速硬型ミラクフロアー 硬化剤	25						
	清 水	0~10						

NS工法（防滑仕上げ）



※ 吸い込みが多い下地の場合、必要に応じて水性速硬型ミラクフロアープライマーを2回塗りしてください。

アーキフロア-EHマイルド

弱溶剤形

2液

F☆☆☆☆

屋内

耐摩耗性、防塵性に優れ、
塗り替えに最適です。

特長



防塵性 耐摩耗性 耐薬品性 高耐久性

試験成績表

JIS K 5970による試験結果

項目	結果	品質
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗装作業性	合格	塗装作業に支障がない。
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常である。
耐摩耗性	4.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量30mg以下。
耐衝撃性	合格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐水性	合格	6時間水に浸したとき異常がない。
耐アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合格	6時間アルカリに浸したとき異常がない。



荷姿

- ★エスケー強化シーラー
主剤：12kg石油缶 硬化剤：3kg缶（標準塗坪：60～100㎡/15kgセット）
- ★アーキフロア-EHマイルド
主剤：12kg石油缶、4kg缶 硬化剤：3kg缶、1kg缶
（標準塗坪：平滑工法42㎡/15kgセット、NS工法27㎡/15kgセット）
- ★塗料用シンナーA 16ℓ石油缶
けい砂6号 25kg袋

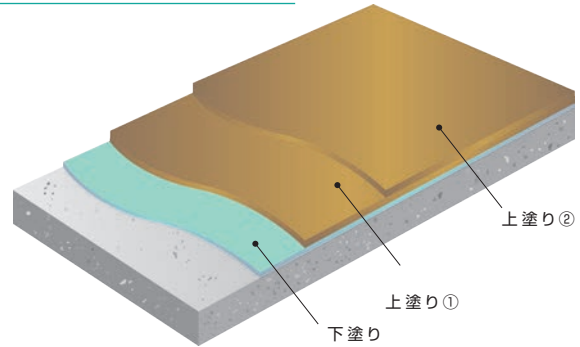
標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工程	材料名	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトクス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリシヤ-型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							
下塗り	エスケー強化シーラー 主剤	100	0.15 0.20	1~2	4 以上	6 以上	-	ローラー 刷毛
	エスケー強化シーラー 硬化剤	25						
上塗り	アーキフロア-EHマイルド 主剤	100	0.35	2	8 以上	-	24 以上	ローラー 刷毛
	アーキフロア-EHマイルド 硬化剤	25						
	塗料用シンナーA	0~10	-	-	-	-	-	-

平滑工法（コーティング仕上げ）

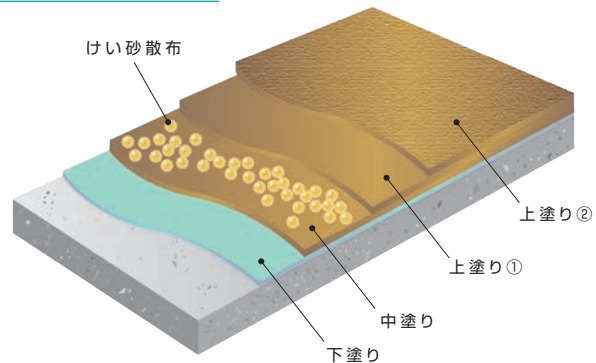


NS工法（防滑仕上げ）

(23℃)

工程	材料名	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトクス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリシヤ-型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							
下塗り	エスケー強化シーラー 主剤	100	0.15 0.20	1~2	4 以上	6 以上	-	ローラー 刷毛
	エスケー強化シーラー 硬化剤	25						
中塗り	アーキフロア-EHマイルド 主剤	100	0.20	1	-	15分 以内	-	ローラー 刷毛
	アーキフロア-EHマイルド 硬化剤	25						
	塗料用シンナーA	0~10	-	-	-	-	-	-
けい砂散	けい砂6号	-	0.3	1	-	8 以上	-	手散布 又は吹付
上塗り	アーキフロア-EHマイルド 主剤	100	0.35	2	8 以上	-	24 以上	ローラー 刷毛
	アーキフロア-EHマイルド 硬化剤	25						
	塗料用シンナーA	0~10	-	-	-	-	-	-

NS工法（防滑仕上げ）



※ 吸い込みが多い下地の場合など、必要に応じてエスケー強化シーラーを2回塗りしてください。

施工上の注意点

共通

- ・強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、(湿度85%以上)での施工は原則的に避けてください。やむを得ず施工を行う場合には、必ず採暖等により雰囲気温度・被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ・①含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計H I -500・H I -520)により、コンクリートレンジ表示値で5%以下、②pH試験紙による測定で、pH10以下、であることを必ず確認してください。
- ・下地コンクリートは打設後4週間以上、モルタルは2週間(冬季3週間)以上の養生をとり、かつ十分に乾燥させてください。
- ・水勾配は下地モルタルでとってください。
- ・軽量コンクリートは塗床下地として適していませんので、できるだけ塗装は避けてください。
- ・塗膜の剥れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ・油面コンクリートは下地処理の方法が異なります。
- ・風化したコンクリート、雨に打たれたり凍結により強度のないコンクリートについては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ・下地にレイタンスや脆弱部があると付着不良の原因となります。電気サンダーやワイヤーブラシなどで予め除去してください。
- ・下地のクラック、不陸等は仕上がり不足の原因となりますので、予め下地調整を行ってください。
- ・材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- ・十分な塗膜性能を確保するため、所定の塗回数、塗付量、膜厚を確保してください。
- ・塗付け量、所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ・水性速硬型ミラクフロアーは施工後、24時間で歩行は可能ですが、十分な耐久性、特に耐薬品性を発揮させるには1週間(23℃)の最終養生が必要です。
- ・各標準施工仕様に記載の使用量及び間隔時間を守り、施工してください。
- ・低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。また、気温5℃以下、湿度85%RH以上の時は、塗膜の白化、艶引け、硬化不良、付着不良の原因となることがありますので、施工を避けてください。
- ・内部の塗装で、換気が十分でない場合や風通しの悪い場合、塗膜中の蒸気が滞留し、塗膜の乾燥が遅くなったり、硬化不良の原因となるおそれがあります。必ず十分な換気を行い、塗膜が十分に乾燥、硬化できるようにしてください。
- ・食品工場に使用する場合は、臭いが製品に移らないよう、十分な対策を講じてください。
- ・乾燥過程で水(降雨)、結露など水分の影響を受けると白化することがあります。
- ・施工部位を確認し、養生が適切に行われているかを確認してください。
- ・材料の保管時は、直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。
- ・凍結させないように3℃以上の室内に保管してください。
- ・性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

二液の製品が対象

- ・材料は、開缶後十分に攪拌してから、必ず計量器を利用して、製品缶に記載の比率を厳守して正確に混合してください。異なった比率で混合すると、硬化不良、塗膜異状の原因となります。
- ・材料の混合は十分にを行い、可使用時間以内に使い切るようにしてください。可使用時間を経過したものを使用しますと、艶引け、硬化不良、付着不良などの原因となります。

溶剤の製品が対象

- ・塗装中は換気を良くし、火気の取扱いには注意してください。
- ・周辺での火気、スパーク、高温物には注意してください。
- ・静電気対策のため、使用する装置などは接地してください。



エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451 福岡支店 ☎092-629-3427
仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 高松支店 ☎087-865-5411

旭川営業所 ☎0166-51-8094 水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400 大阪営業所 ☎072-621-7722 福岡営業所 ☎092-622-5561
仙台営業所 ☎022-259-2431 宇都宮営業所 ☎028-657-5555 横浜住野野営業所 ☎045-820-5525 大阪住野野営業所 ☎072-621-7747 福岡住野野営業所 ☎092-622-5562
仙台住野野営業所 ☎022-388-8518 東京営業所 ☎03-3204-6601 厚木営業所 ☎046-294-3666 南大阪営業所 ☎072-253-1910 大分営業所 ☎097-555-9081
青森営業所 ☎017-762-3855 東京住野野営業所 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-294-1877 神戸住野野営業所 ☎078-686-0520 長崎営業所 ☎095-887-0871
盛岡営業所 ☎019-654-8380 野田水産営業所 ☎03-3204-6603 浜松営業所 ☎053-462-7021 姫路営業所 ☎079-281-5311 熊本営業所 ☎096-344-5650
郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉営業所 ☎043-304-0411 三河営業所 ☎0564-28-1614 岡山営業所 ☎086-242-5520 鹿児島営業所 ☎089-284-5321
秋田出張所 ☎018-883-0230 千葉営業所 ☎043-304-0413 北陸営業所 ☎076-266-1041 広島営業所 ☎082-943-5043 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 名古屋営業所 ☎052-561-7712 住野野営業所 ☎082-943-5053 沖縄営業所 ☎098-862-5041
群馬営業所 ☎027-280-5390 埼玉住野野営業所 ☎048-686-1586 住野野営業所 ☎052-569-8783 山口営業所 ☎083-924-7575
長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3877-7770 岐阜営業所 ☎058-273-1981 松山営業所 ☎089-958-3760
松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 三重営業所 ☎059-254-3777 北九州営業所 ☎093-621-8505

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店

[製作年月:2021年12月] (211200.YT-2)